

I

5 10 15 20 25

1 ②土地所有率が最も低く、地方から流入した貧困層が
 街道筋を不法に占拠して形成されたスラムであり、貧困
 層は密集して居住するため耕作地は自宅近隣での割合が
 5 低く、道路脇や湿地に多いことから、耕作に適さない公
 有地などを不法に耕作していると考えられる。

2 人口減少や高齢化が進み、都市の衰退が深刻化するな
 かで、中心市街地への都市機能の集約を図り、都市の利
 便性・機能性を維持するとともに、跡地を農地に整備す
 10 ることで大気汚染や地球温暖化の対策にもつながる。

3 移民は、出身地ごとに集住し、地域社会から孤立する
 傾向にあり、貧困層が多いため安価なファストフードの
 摂取による肥満率や成人病の罹患率が高い。都市農業は
 健康的な食生活を提供し、故郷の農作物を栽培すること
 15 で自らのルーツの確認にもつながる。農園での作業や交
 流は、家族の絆を強め、社会に参画する契機になる。

II

5 10 15 20 25

1 アフリカのコンゴ川流域では鉱産資源の開発が、ラテンアメリカのアマゾン川流域では農業開発が行われている。ともに熱帯林が破壊されることで生物多様性が失われ、二酸化炭素吸収量が減り、地球温暖化が進行する。

5 2 ①赤道付近の高原上にあり年中温暖な気候のため、低賃金労働力を用いて栽培が増えたが、取水量の増加や肥料の投入により河川の流量減少や水質悪化が生じ、点滴灌水や水質管理の強化が図られている。②リチウム。蓄電池に利用される。国営公社を設置し、採掘から電池までの一貫した生産を目指し、産業振興を図っている。

10 3 アメリカ合衆国 日本にとっては輸入先が分散されるとともに、供給の安定化が期待できる。両運河ともに大型船が増加し、輸送の効率化が図られた。スエズ運河では中東の石油類やガス、ヨーロッパ向けの工業製品を運搬するコンテナ船が、パナマ運河ではアメリカ合衆国向けの自動車や東アジア向けの石油類やガスが増加した。

15

Ⅲ

5

10

15

20

25

1 かつては住宅密集地の路地などが主な遊び場であったが、中心部からの住民の流出と郊外への住宅地の拡大に伴い、自動車が増加し道路での遊びは危険となり、管理された大規模な商業施設や家の中などに変化した。

5 2 組織的活動をする子どもの割合が増加し、外遊びや友人を訪ねるなど自由に過ごす余暇活動が減少している。一方、組織的活動の頻度が高くなるほど外遊びや友人を訪ねる割合が高くなっていることから、スポーツクラブや習い事などを通じて交友関係が広まり、一緒に遊ぶ機会も多くなると考えられる。

10 3 スラムでは家が狭く、道路や空き地などで遊ぶことが多く、近隣の人と会話する機会も多くなる。一方、計画的住宅地では住居環境が快適で、治安の悪い屋外より家で遊ぶ機会が多くなり、近隣の人との関係も希薄になりやすい。大人が計画し用意した遊びが、子どもの自主性や社会性の育成に繋がるとは限らない。